

ぼくたち！
わたしたち！
きょうから1年生！



貫気別小学校入学式(4/8)



平取小学校入学式(4/9)

今月号は…

- 平成 25 年度 町政執行方針
- 平成 25 年度 教育行政執行方針
- 平成 25 年度 予算概要
- 国民健康保険税の率が一部変わります
- 認知症グループホーム事業が開始されました
- まちの広場
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

平成25年度 町政執行方針



町長 川上 満

平成25年第2回町議会定例会は、3月4日に招集し、川上町長が町政、松本教育長が教育行政のそれぞれ平成25年度執行方針について説明しました。

本紙ではその概要のみをお知らせしますが、詳細な全文は町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

昨年の町長選挙におきまして、皆様からご支援をいただき、ふたたび町政への信頼と期待を担う重大任務を担わせていただくことになりました。町民の町政に寄せる期待の大きさを感じ、果たすべき使命と責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いです。

町民との協働による町づくり、健全で効果的な財政運営

とさらなる町民福祉の向上を目指し「町民が健康で豊かに安心して暮らせる町づくり」に努力をしてまいります。

資源をいかし、生産の喜びと活力に充ちたまちづくり

【農業振興対策】農業は、基幹産業として発展に寄与し、トマトは7年連続して生産量1万トンを超え、販売額も39億円を突破し、敬意を表するところであります。また、T P Pについては、交渉参加は断固反対としながら、戸別所得補償制度の推進、農山漁村の6次産業化、食の安全・安心の確



びらとりトマト・和牛フェア

保を中心に対応を進めます。担い手育成対策は、実践農場を整備し、新規参入者は15戸が就農していますが、農家戸数の減少が予想されるので、新たな対策の研究をします。

【林業振興対策】森林整備計画に基づき積極的に森林整備を実施し、森づくりへの意欲増進と負担軽減策を講じます。

【商工業振興対策】町内経済循環を図るべく、商工会及び関係団体と連携を図り、地域ブランド商品開発への支援等、商工業の振興発展に努めます。

また、伝統的工芸品の指定に伴う予算措置もしながら、振内地区、貫気別地区の商店街活性化についても、連携しながら対応します。

【観光振興対策】びらとり温泉は、平成26年4月オープンに向けて宿泊施設を含めた温泉施設として、本体工事を実施しますが、これまでいただいた意見や提案を受け止め、町民の皆様にご喜んでもらえ、観光拠点となるような施設をめぐらします。

【雇用対策】本年度も町有林造成事業等の雇用についての予算措置と、関係機関と連携をしながら、季節労働者の通年雇用促進と生活安定に努めます。



緊急雇用対策事業

自然と共生し、快適で安全な暮らしづくり

【道路・交通機関の整備】町道整備では、荷負本村線、本町公園線、川向学校シラウ川線、荷菜原田分譲1号線・2号線、川向町界線の改良舗装事業について実施します。

地域公共交通については、総合的に検討し、効率的な公共交通網の確立に努めます。

平成25年度教育行政執行方針



教育長 松本 周次

平取町教育推進計画2年目にあたり、家庭・学校・地域の連携をより強固なものにするとともに、世代や地域を超えた学習活動や健康・体力づくりが積極的に展開されるよう、教育行政を推進してまいります。

生きる力を育む

学校教育の推進

授業改善研究事業の実施、全国学力・学習状況調査やチャレンジテストへの参加及び各校統一の標準学力検査の実施に向け、その体制整備を各学校との連携のもとに進め基礎・基本の定着と自ら学び解決できる力を育てる指導の充実、学習指導要領の改訂を踏まえた教育内容の改善を図ってまいります。

学校教育環境の充実

教育における機会均等を保障し、安心して学べる教育環境確立のため、高等教育をめざすうえでの奨学金貸付制度をはじめとする就学援助の充実に努めてまいります。

地域に信頼される

学校運営の推進

学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育活動の推進と保護者や地域住民の意向が学校経営に反映できるよう、

また、児童生徒が生き生きとした学校生活を送るため、引き続き、学校施設・設備の整備充実と安全性の確保に努めてまいります。

芸術・文化の向上

生涯を通じて、より文化的な営みを通じることができると環境づくりや、地域の特色ある活動は、人と文化を育むまちづくりに重要であります。このことにおいて、個性豊かな地域文化の振興として、文化団体が行う文化祭等に対し支援してまいります。



24年度文化祭の様子

健康・体力づくりの

魅力ある社会体育の推進

体育連盟や関係団体との連携を図り、スポーツに気軽に親しむ環境づくりとスポーツレクリエーションの普及、及び推進に努めてまいります。



また、競技スポーツにおいては、各種競技において小学生が全国大会への出場を果たし、トップアスリートとしての足掛かりを掴んでおりますので、今後とも競技スポーツ選手の育成及び体制強化に対し支援してまいります。その他、スポーツ少年団及び体育団体、サークルを支援するとともに、自主的な活動の促進を図り、生涯スポーツ社会の実現に向けた意識の啓発に努めてまいります。



活躍の場は全国へ



文化財の保護と

活用の推進

町民の大切な財産であり、地域の歴史や文化を理解する

ために欠くことのできないものであるとともに、当町の未来を創っていくうえでの基礎となるものでありますので、文化財への町民の理解促進と愛護意識の醸成に努めてまいります。

埋蔵文化財の保護と

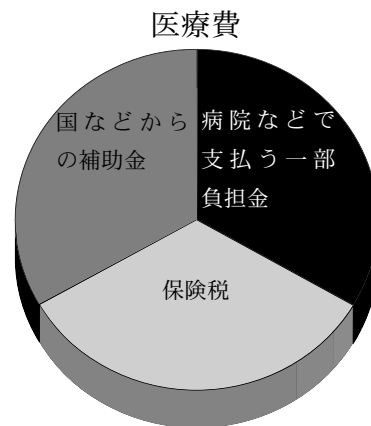
活用の推進

貴重な国民的財産であります埋蔵文化財を適切に保存し、次代に継承していくことは、地方公共団体の責務であると考えますので、その管理等に遺漏のないよう配慮してまいります。

教育環境を取り巻く多くの問題が派生する中、「不易なるもの、失ってはならないものは何か」を改めてしっかりと判断し、平取町教育推進計画を基軸として、学校教育及び生涯学習など、各々の主体性を尊重しつつ、また、併せて相互の関連性を追求しながら、教育全般の振興に努めてまいります。

町民の皆様におかれましては、当町の教育行政の推進に、より一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平取町国民健康保険税 の率が一部変わります



国保は、みなさんの健康と暮らしを守るための制度です。

国などからの補助金と、みなさんが納める保険税により、病気やケガなど、保険証を使ってお医者さんにかかるときに必要な医療費で、大切な財源です。

いざというときに、安心して医療を受けられるように、決められた保険税を必ず納めるようにしましょう。

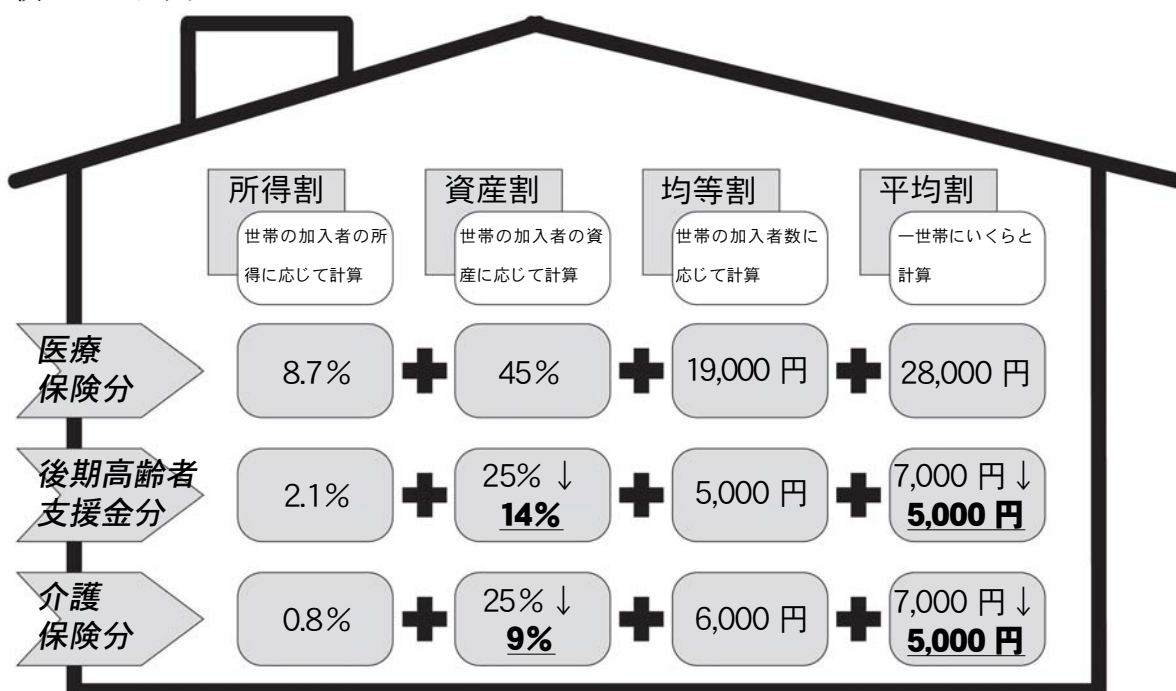


◆一世帯あたりの保険税が変わります

本年度より、後期高齢者支援金分・介護保険分の資産割及び平等割の税率・金額が変わります。世帯構成等により違いはありますが、平均すると5,000円程度下がる予定です。

その年の医療費は、国などからの補助金と病院などで支払う一部負担金を差し引いた金額が、保険税の総額になります。それを下の項目をもとに割り振り、それらを組み合わせて一世帯の保険税が決まります。

「後期高齢者支援金分」や、「介護保険分（40歳以上65歳未満の人）」も同様に決められ、上限額は別々に決められます。



◆保険税は、年齢によって納め方が異なります

◇ 40歳未満の人

医療保険分と後期高齢者支援金分を合わせて納めます。介護保険分の負担はありません。

◇ 40歳以上65歳未満の人

医療保険分、後期高齢者支援金分、介護保険分を合わせた額を納めます。

◇ 65歳以上75歳未満の人

医療保険分と後期高齢者支援金分を合わせた額を納めます。

介護保険料は別に納めます。

問合先 町民課 国保医療係 (☎ 4-6113)



認知症グループホーム事業が開始されました

～こころのホームふれない～

町が新たな介護サービスの基盤整備を図ることについては、平成24年の「広報びらとり8月号」でお知らせしましたが、昨年7月に町介護保険事業計画並びに町総合計画に基づき、認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）を担う民間業者を公募した結果、応募があった中から、日高町で数多くの介護福祉事業を営んでいる「株式会社富川グロリアホーム」（谷井和恵代表取締役・従業員72名）を8月に開設運営事業者として選定し、旧振内営林署跡の町有地に建設着工した認知症グループホームの建物が今年3月下旬に完成し、4月10日にはその開所式が行われ、入居が始まって事業が開始されました。

約6畳の広さの個室9部屋に加え、居間・食堂・浴室などの共同生活スペースで構成された平屋の建物が2棟建設され、定員は合計18人です。家族や地域の方々と交流するための地域交流棟も中央に設けられ、合計延床面積453㎡の中で、地域に密着した運営がされる予定です。

振内産のカラマツ材を多用した温もり感あふれる建物は、小学校や住宅地に隣接し、認知症の方にとってふさわしい立地条件となっています。

町は、町民の皆様からご負担いただく介護保険料が、将来大きく増高しないよう十分勘案しながら、今後も高齢化社会に対応するために必要な介護福祉施策を進める予定です。



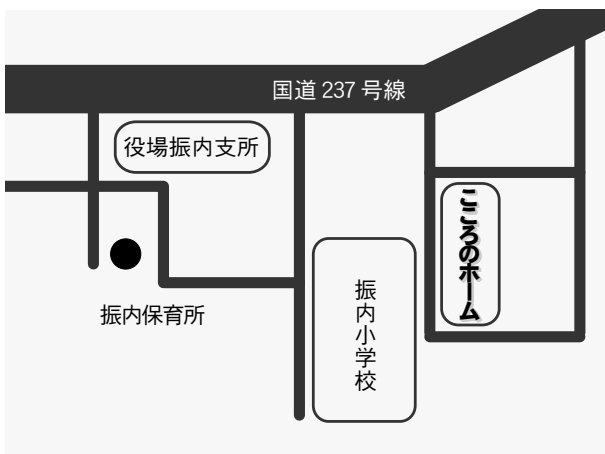
テープカットの様子



建物外観(25年4月10日)



振内小学校児童への説明(24年12月10日)



所在地 (旧振内営林署跡地、振内町31番地17)

認知症グループホームは、介護保険制度に基づき、認知症の高齢者が共同で生活する住居で、家庭的な環境のもと、入浴・排泄・食事等の介護や支援・その他日常生活上の世話などを受けることにより、入居者がその能力に応じた生活を営むことができるものです。

グループホームの名称は、隣接する振内小学校の児童から募集し、職員が心からのケアで接するという意味を込めて、事業者が「こころのホームふれない」と名付けました。

問合せ先 こころのホームふれない (☎ 3-3110)

まちの広場

(すずらのまち びらとり)

愛の鈴で交通安全！

町内各小学校入学式

ワクワクドキドキの入学式を迎えた新1年生44人に、今年も商工会女性部の皆さま手作りの「交通安全愛の鈴」がプレゼントされました。

平取小学校では、交通安全婦人指導員や商工会女性部の方がピカピカのランドセルに「愛の鈴」を取り付け、新1年生はとても喜んでいました。

※平成25年度新入生※

紫雲古津小学校	5人	
平取小学校	22人	
二風谷小学校	6人	
貫気別小学校	2人	
振内小学校	9人	計44人



さらなる発展を目指して

和牛生産改良組合設立50周年(3/27)

平取町和牛生産改良組合設立50周年記念祝賀会が中央公民館で開催され、組合員や関係者約100人が出席しました。

佐藤貢組合長は、冒頭に「和牛生産の発展に貢献した先人たちに感謝し、今後も努力していきたい」と挨拶されました。

同組合は、1962年に和牛振興推進協議会として発足し島根県から繁殖素牛54頭を購入し出荷を開始しました。その後は「びらとり和牛」として道内有数のブランド牛となっています。



4月1日から、びらとり温泉と二風谷ファミリーランドの指定管理者が「株式会社アンビックス」に変更となりました。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

◆指定管理者が変わりました



苫小牧信用金庫 金沢俊一理事長が町長室を訪れ、平取町発展のためにとご寄付くださいました。川上町長より「町のために大切にに使わせていただきます」とお礼の言葉が述べられました。

◆ご寄付ありがとうございます